

# くらしの目線で市政を変える

こんにちは  
日本共産党

## 市会議員 西野さち子です



# 原発から脱却し、安心・安全なエネルギー政策へ転換!!

余熱利用  
センター

## 「お風呂、プールを残して」 請願署名の審議はじまる

5月議会で提出された「東余熱利用

センターの存続を求める請願」の審査が、くらし環境委員会が始まりました。

請願審査にあたって、当局からは、

「温水プールは1988年のピーク時から利用者が4割程度に減少している

事。改修費用が熱源を含めて4億円かかる事などを理由に、温水プールは廃

止して、図書館とお風呂は改修して残す。」と説明がありました。自民党、

民主党、公明党の委員は「京都市の方針に賛成」との立場です。

西野さち子市議は「迷惑施設としての東部クリーンセンターと石田下水処

理場の周辺対策で建設された施設だとしながら、下水処理場はまだ残ってい

るのに、プールを廃止するのはおかしい。」「お風呂を残すのなら熱源が必



要だから、同時にプールは残せるはず。」  
「太陽光発電やペレットボイラーの導入で、自然エネルギー活用モデル施設にしようか」など、提案もしながら、地域の皆さんの声を紹介し、全ての施設を存続すべきと質問しました。しかし、自民党の委員は「次回は請願を不採択にする」と言っています。さらに運動を広げましょう。

### 市政報告

## 大地震が起こっても自動停止しない灰溶融炉

くらし環境委員会で西野さち子市議の質問と資料要求で、大地震が起こっても、職員が「緊急停止スイッチ」を押さなければ、溶融炉は停止しないことが判明しました。自動停止しない理由は「感振器は繊細なので誤作動がよく起き

るため」と、理事者は理由にならない答弁をしています。大地震の際に職員がどんな状況にあるのかは想定できません。焼却灰溶融炉に対する不安要素がまた増えました。これはもう、稼働中止しかありません。



## いまだに生きる「安全神話」 運転停止し、総点検を!!

「滋賀県で考えること。琵琶湖に影響を与える様な問題は起こりません」と安全神話がいまだに生きていました。福島原発事故が深刻に受け止められているのか疑問です。また、高速増殖炉もんじゅは何度も事故を起こしながら、試運転を再開しています。アメリカもフランスも実験炉の段階で廃止しました。日本だけが実験を繰り返しています。力をあわせて、原発のない安全な社会をめざしましょう。

### 美浜原発と「もんじゅ」を視察

6月8日に日本共産党京都市会議員団などが福井県美浜原発ともんじゅの視察をし、西野市議も参加しました。

福井県庁で県の原子力担当者と防災担当者の説明を受けましたが、災害時の琵琶湖への影響や対策については



美浜原発を視察する京都市会議員。ここでも「事故が起きても琵琶湖は大丈夫」と安全神話が。